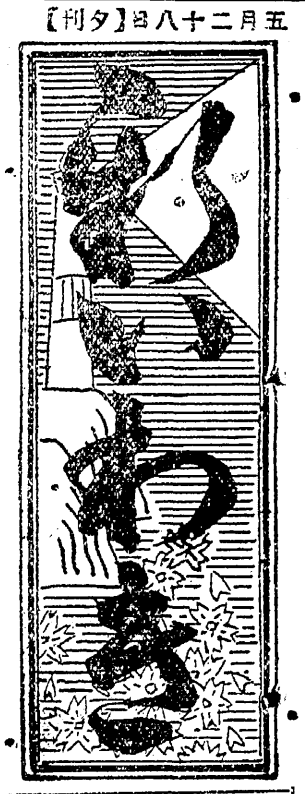
五月二十八日【夕刊】



休日　日曜大祭日
一ヶ月　廿五錢
郵税　十五錢
一部　二錢
廣告料　一行四〇錢　場所指定廿錢增
發行兼編輯人　印刷人　半谷政喜
發行所　福島縣平南町世　新いわき新聞社

鐵道芝居の大團員 減俸反對劇の終幕

水戸事務所に招集されて 歸つた淺植平驛長語る

鐵道側の減俸反對が飽くまで停止せざる場合はより重大化の反對に對する反對運動を惹起するものと見られてゐたが各從業員を一括する辭表の提出も素より實際の意志でなく此所らが潮時と見てとつた減俸

該當者 連の內協議で運動も漸く下火を呈し昨廿七日水戸の事務所に招集された同管內各長主任會から當日午後六時に歸つた淺植平驛長は語る

鐵道從事員としては交通上絕對に社會を迷惑させる樣な行動をとらず飽くまで初志を遂げやうともされたが何所までも我意を通そうとすることも考へもので此際如何なる條件の下にも妥協案に贊成すると云ふことになつて『減俸絕對反對、退職年金恒久性確保、自然整理によらざる整理を行はざること』の三要求の中減俸は之れを斷行するが其の他の諸給與を低下せず不自然な人員整理も行はないと云ふことによつて現場關係者の意見を一致し圓滿に解決した以上再び騷ぎの起る樣なことはないと思ふ騎虎の勢で世間を騷がせたことは相濟まぬと

野球會長の植え替へ

磐陽には阿部氏 小學は多田井氏

平町小學校の野球選手後援會では從來同會の阿部政右衛門氏が石城郡下の中學及び商業學校並に同地方野球同好者から成る磐陽野球後援會の會長に推されたので其の後任を物色中であつたが平青年會長多田井笑次郎氏に交渉の結果同氏の承諾を得て從來に劣らぬ活動をなすことになつた昨年の同會關係試合は縣下に於ける若松、福島、郡山、平、白河の五大都市間に行はれたが本年は之れに喜多方、中村、二本松を加へ八大都市の試合を七月中旬頃福島市に開催される筈で優勝旗獲得のチームは東都神宮競技に參加が出來る選手權を得るので後援に一層の熱を添ふることになつてゐる尙ほ磐陽側でも新會長により近く活動を開始すると

來る蝕齒の豫防デー

平齒科醫の講演隊

昨年の幼童白齒保護から 食物をかんで食せの宣傳

六月四日は全國一齊に行はれる第四回目の蝕齒豫防デーなので縣齒科醫師會石城支部では當日ポスターの貼布、ビラの配布等に大童の宣傳をなす筈であるが尙

同支部 では萩原、織田、佐藤、原の諸氏を先鋒として十餘名の齒科醫師が講演隊を組織し郡下各小學校、中等學校等に口腔衛生、蝕齒豫防宣傳の講演をすることゝなり種々

準備中 であるがこれに就いて縣齒科醫師會石城支部の萩原義雄氏の談を聞けば

最近の統計によれば小學兒童は百人の中九十人から九十二人、中等學校生徒は百人の中八十人までが蝕齒に冒されてゐる狀態であつてこれは年々增加の傾向を示してゐる、統計に依れば蝕齒は都會の兒童は概して地方の兒童よりも多くなつてゐるが之は文化の程度の進むにつれて調理法が上手になり美食をするからで隨つて自然のまゝの食物を攝つてゐる未開[illegible]は蝕齒は殆んどない、人はなんの蝕齒一本位と思つてゐるが之を放置すれば直接消化器に及ぼす影響は勿論漸次身體の各部に影響を及ぼすものであつて齒一本決してそれ丈の局部的疾患ではない之が豫防としては常に口中を淸潔にし食物はよく嚙んで食べることであつて昨年の豫防デーには主として六歲臼齒の保護を眼目としたが本年は食物はよく嚙べよといふことを主として宣傳する筈である

減俸された反映に 家賃値下の運動萌芽

俸給生活者に叫ばれる聲 家主が頑張れば一騷ぎか

がう〳〵たる世論の渦を卷いた減俸案も政府の强腰が勝つて幾多の妥協修正を加へ乍らも來る六月一日から愈々實施の運びとなつたが之に伴つて當然家賃

値下げ の運動が起されると見えたが遂に減俸實施と決つた昨今漸く一部の間に値下げの具體的運動が起されつゝある即ち鐵道關係では官舍居住者

隣接町 村の實家より通勤する從業員合計約二百五十名を除く其の他の借家住ひの者三百人の中から値下げを要求せよとの聲が揚り一方銀行會社方面に於ても政府に倣つて

積極的 な減俸を行ふものも多いと見られこゝに俸給生活者の受難時代が現出さるゝことゝなり之等が擧つて値下げ斷行を叫べば年來の不況に苦しむ一般商店も又これに合流すべく

現下の 世界的不況に際して呉服雜貨は勿論米味噌に至る生活必需品が之に順應して低落してゐる今日獨り家主のみが不當な家賃を貪る經濟時運を顧みぬ態度には尠からず

不滿を 持つてゐる店子も多く殊に減俸にすつかり膽を冷した鐵道從業員關係には此際家主は一齊に値下げを行ふことが當然であるとの聲が漸く高まりつゝある

鐵道の減俸反對劇

嵐の後に遺る塵 踊つた役者の骨折り損

社會の經濟實況から見たなら減俸は當然である、大多數の農民は今どんな暮しをしてゐるか、一石十六圓そこ〳〵の米價下落、貫二圓五、六十錢に暴落した繭、在らゆる生產が下つても公課公租に變りはない、一體其の金が何處に使はれてゐるのだ、遣り樣によつては餘地たつぷりな官職員の整理、俸給の減額、殊に特別會計と稱する有利な立場に座はる鐵道關係者は、官舍に住んで官服を着せられて轉任旅費を貰つても家具家財の輸送は無賃、物干竿から澤庵の押石まで運べる、それで家族は薩摩守只乘り此の筆法で行くなら文部省に職を置くものは中女校から高專大に至る子弟の月謝も入らぬことになる、司法關係の就職者は罰金刑位は特免されてもよい、他に比較せば餘りに仕合せが多過ぎる、夫れを騎虎の勢だと云ふものゝ國民の膏血で造つてゐる通信交通の公器を濫用して多數國民の意志に反する減俸反對の爭議的運動を下の關から青森に至る同志統制を僅か一時間でついた事や中央の會合が迅速であつたなどゝ高慢される話でなく、比較的高級者が黑幕になつて現業員とやらを煽動し下級者から無理体に印章を集めて謄寫刷の辭表にベタ押の一括なぞ何々長主任などゝ云ふ連中にも馬鹿でない限り官吏として の振舞でなかつた事は萬々承知はしてゐやうなか〳〵大きな芝居を打つたものだ其の結果として一部少數の俸給に若干の減率を見たやうなものゝ調子に載せられて踊つた役者（現業員）に何の得る所があつたらう夫れは上局の自己の首を實見に供して軈て來たる整理の際幾何なりとも前にちよん馘られる心ならぬ短命運動に終つて仕まつた、今更の後悔が儲けもので此の責任を誰が負ふのか本當なら幹部は辭職すべきである、いやそれはならぬで大風の後の此處彼處に今混多々々を演じてゐる

十丹花合せ 檢擧さる

內鄕の四人組

石城郡內鄕村の宮字町田肉屋石井久太郎（[illegible]）方に於て去る廿七日午前十時頃同村居住安達郡竹下村の生れ肉商賭博前科二犯吉川幸太郎（四[illegible]）及び同村磐城炭礦坑夫今福重四郎（[illegible]）同じく字宮居住東方電力會社散宿所同居住無職朝鮮生れの黃水江（五[illegible]）が俗に十丹と稱する現金かけの賭博中平署に檢擧され目下取調中である

遠藤前書記に 感謝狀

記念品を添え 軍人分會から

平町在鄕軍人分會では昨廿七日の海軍記念日に於て松ケ岡公園忠魂碑前に記念式及び評議會を開催したが會式終つて園內春木亭に前平町兵事主任書記遠藤五三郎氏に記念品を添え藤田會長から左記感謝狀を贈つた

貴下多年平町兵事主任の重職に在り其間終始當分會と緊密なる連繫を保ち熱誠克く會務遂行上多大なる便益を與へられ本分會發展に資せし功績鮮少ならず依て役員會の決議を經硯箱一個を贈呈し感謝の微意を表す

▲電話特別開通
▲受付開始廣告

一、受付期間　六月一日ヨリ六月十日マデ
一、設備費　金四百圓（外ニ加入登記料金拾圓）
一、受付場所　平郵便局窓口
一、申請書用紙ハ當局窓口ニテ差上ゲマス
一、詳細ハ窓口又ハ電話第四〇〇番へ御問合下サイ

平郵便局

農業欄

肥料の用ひ方（二）
稲作の適施

稲作に對する三要素を上げて見やう、昔は窒素を葉の肥料、燐酸を實の肥料、加里を根の肥料と云つたものであるが之れは植物の榮養學上適切なるものと云へない燐酸は玄米の成分に於ても有效な作用をなすものであるから實の肥料と云つたのであらうが燐酸だけで多くの米を生成するわけには行かない又窒素の玄米中にある量が少ないにも拘らずちつ素を與へる事が少なければ多くの米を收穫することは出來ないしかも窒素は米の收量に最も大なる關係を有して居るのであつて要するに稲の發育を盛んにし米の生産を增すのには窒素、燐酸、加里の三要素を皆それ〴〵相當に施さなければならぬ、其の試驗成績の一例を上ぐれば

無窒素區（燐酸加里を施す）反當玄米收量一石七斗七升、無りん酸區（窒素加里を施す）反當二石五斗八升二合、無加里區（窒素、りん酸を施す）反當二石八斗四升九合、完全區（三要素を施す）三石三斗五合

と云ふことになつてゐる此の成績でも完全肥料區として三要素を施したものが成績が最も優つてゐる

廣告

六月四日の虫歯豫防デー
▲楊子無き方へ 一本宛進呈
◎御得意様ニハ歯磨粉 一袋宛進呈

月やく
藥少の費用で月經閉止が早きは二日間で無害安全必ず流下す獨特の實驗
流經責任秘法
秘法を親切無料で教へ升 悩める方は切手添照會必ず滿足を得升
産兒制限 欲しいと思ふ時にのみ子を生め必要なき時は子を生むな病弱多産經濟に苦悩む人は當所に來れ 照會切手
福島縣平町三丁目（電話一〇五） 産兒制限相談所 藥劑士 宇佐美友二郎

これは便利
實用新案 郵便受函
配達毎に自動的信號「ベル」が鳴ります
賣捌所 釜屋商店 平町五丁目
遞信局も皆様に御使用を勵めてゐます

◇破格の勉強で歡迎される
靜岡本場 小笠銘茶 大角園 特約
半谷商店
平大町若松病院隣

新裝のカフエー タヒラ
皆様のお蔭によりまして
近代的な食堂に改造致ました
どうぞお出で下さいませ
各品共從來の通り勉強いたします
平驛前 カフエータヒラ 電話六二〇番

破格的大勉強の新しい書店
舊磐中校下乾商店跡に
新店であるが故の一時的勉強ではない永久に薄利多賣主義、親切、迅速をモツトーとして皆様の御期待に奉仕する
商品目
書籍 雜誌 中等教科書一式
中等學校參考書 小學參考書
ノート 雜記 一般文房具
諸帳簿紙類 高級萬年筆
平町搔揚小路 コマツ書店
電話三一五番 振替東京三五八〇八番

高久病院
外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町、電話五一三番
院長 醫學士 高久忠

そばから
そばからの枕は頭の為には一番良いと申されて居ります
そばから 一升三錢 そばこ 百匁八錢 そば 一バ五錢
平町土橋 福麥 マルマツ商店 電話四八九番 ヨヤク

模範裁縫
高島屋の洋服
平町驛前 電話三八六番

春着の御用意は高島屋へ
新柄着荷

磐城共濟病院案内
本病院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候
入院料 一日 一般 金貳圓也 本會員金壹圓五十錢
往診料 院長及其他の博士に限り、一般金三圓也 平町 本會員金二圓也
尚地方往診も之に準じ低減致候間此段申添候也
各科専門醫擔當
内科 小兒科 人科 産婦 女子泌尿科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 内臓外科
耳鼻咽喉科
×光線科（物理學的診療科）
院長 醫學博士 石山謙郎
本院主管 賀澤忠治
◇衛生試驗所 ◇病氣相談所 ◇救療所 本病院内
救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい
看護婦募集…… 磐城共濟會（磐城平町 電話六四一番）

醫院開業
私儀今般左記場所に醫院を開業一般診察に從事致すべく候
平町新川端（釜屋新宅向）
難波醫院
醫學博士 難波睦
電話五〇二番
内科一般（午前宅診（午前九時より） 午後往診）
但し急患は此限りに非ず

黒髪の美!
フツクラと結ひ上げた黒髪の美!
その艶……その香……この魅力!
それは「八雲」御愛用の賜です
特色
染め方至極簡單
自然の黒さに染る
絶對に變色、褪色せず
頭髪を少しもいためぬ
▽全國藥店ニアリ 定價 廿五錢
發賣元 石川製藥所 大阪市北區北同心町二丁目
平町發賣所 五丁目 山野邊藥局

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前（電話六六九番）
◇自炊の便あり